第5次台東区男女平等推進行動計画「はばたきプラン21」
令和6年度事業実施状況に係る委員からのご意見等について

資料1

基本目標1	あらゆる分野への男女平等参画の促進					
【施策(1)】	男女平等意識の形成					
評価指標	「男性は仕事、女性は家庭」という考え方を否定する人の割合	全体	72.8%	令和6年度 評価時	88.1%	計画目標 (令和6年度) 80% 達成
		男性	67.8%		85.5%	75% 達成
		女性	77.8%		90.4%	85% 達成
根拠となるデータ	男女平等に関する台東区民意識調査(令和5年度実施)					
取組の方向性	①男女平等参画を推進する広報・啓発活動の充実 ②男性への男女平等参画の取組 ③教育における男女平等意識の形成に向けた取組					
ご意見	平等意識の形成は、継続的な取り組みによって保障されることから、男女間の意識の違いを縮めるような教育・学習の機会提供を求めたい。					
ご意見	男女平等意識については、男性の意識改革が重要。男女平等意識形成の機会を設け、男性の意識改革を今後一層推進していくことが必要と思う。					
ご意見	取組の方向性①:男女平等参画を推進する広報・啓発活動の充実 意識の形成として、はばたき21通信や各種講座、推進フォーラム開催などによる広報啓発に努力しているのは、とても素晴らしいと思いますが、周知の面で、区民に広く周知してもらい活用してもらう点において、まだまだ、足りていないように思えます。どうしたら見てもらえるか、知ってもらえるかを含め配布先の検討を行ってみたいと思います。(紙媒体以外の発信についても発信等検討)					
ご意見	No4:子供家庭支援センターが実施した「お父さんのための講座」が昨年度よりも参加者が増えている。またハローベビー学級についても参加者数が増え大変良いことと思う。こうした取り組みの成果を今後どう発信していくか、仕事等で参加出来ない家庭にもこうした取り組みを知ってもらうための工夫があると良いのではないかと。					
ご意見	No8:小・中学校教員による児童・生徒の盗撮が指摘されている。ごく一部の教員の事案であると思うが、けっして軽視できない。子供の教育にかかわる研修において小・中学校教員に対する人権研修を特記すべきだと思う。					
ご意見	No.13:新規で女性の参画を推進するための新ガイドラインが設定されたことはとても良いことだと感じています。一方で、「目標達成に向けての課題」や「課題解決に向けた女性比率向上のための具体的な取り組み」を見ていると昨年と同じような回答が多いことも気になりました。今すぐ女性議員候補を出せない場合は、中長期的に女性議員が増えるような計画を立てていて、議員を選出するのにふさわしい団体を優先的に選出するなど、ある程度の強制力が無いと、他団体に任せて努力目標にするだけではいつまでも目標には達成しないのではないかと感じています。					
質問	No13:「委員選定に関するガイドライン」は、新たに策定ではなく、改訂ではないか。具体的にどのような改訂を行なったのか紹介いただきたい。					
回答	ご指摘の通り改定である。改定内容は、審議会等の女性委員の割合を35%とする目標を令和6年度末から令和11年度末としたものである。					
質問	施策1の評価指標を見ていると、割合が向上しているが、イベントやワークショップなどの人数参加が増加しているのではないと感じました。行なっている事業内容と評価指標の向上の要因はどのように関係していると考えられていますか？					
回答	指標は区民意識調査結果であるため、因果関係については判断が困難である。					

【施策(2)】		意思決定過程への男女平等参画の推進			
評価指標	審議会等における女性委員の割合	策定時	令和6年度 評価時	計画目標 (令和6年度)	結果
		28.1%	27.9%	35%	未達成
根拠となるデータ	審議会等への女性の参画状況調査(令和7年4月1日時点)				
取組の方向性	①審議会等への男女平等参画の推進 ②区民が立案・参画する機会の増加 ③区民の社会・地域活動への参加の促進				
ご意見	意思決定過程への参画は個々に任せることではなし得ないことから、意図的な働きかけやアフーマティブ・アクションが求められる。 *アフーマティブ・アクション:積極的差別是正措置				
ご意見	職務指定により委員を委嘱する際は、次席の方でも可能とするよう見直す事で、委員等の男女比率均衡の余地が生まれる。				
ご意見	No12:審議会等への女性への積極的登用については目標の35%に達成していない状況が続いているが、目標値が高くないのに実現できない理由はどこにあるのか、審議会によってはほとんどが男性であるものもあり委員を選任する時の方法についての工夫が必要ではないか。No14で調査をしているがその調査結果が生かされていないことについて担当部署の意識を変革していく工夫が一層必要であろう。				

【施策(3)】		男女平等参画の視点に立った防災・復興体制の確立			
評価指標	女性の視点を取り入れた防災対策が行われていると感じる人の割合	策定時	令和6年度 評価時	計画目標 (令和6年度)	結果
		16.3%	6.7%	30%	未達成
根拠となるデータ	男女平等に関する台東区民意識調査(令和5年度実施)				
取組の方向性	①男女平等参画の視点に立った防災・復興対策の推進				
ご意見	防災・復興にあたっては性別や性に拘泥している場合でないとなされがちであるが、生に関わることであるからこそ男女平等・セクシュアリティ平等の徹底が求められる。				
ご意見	実際に災害が発生した際の課題等、特に女性が困った点など調査検証したものを参考に女性の視点に立った防災・復興体制の確立に役立ててほしい。				
ご意見	先日、都内消防少年団の総会に参加してきましたが、圧倒的男性社会でした。防災という点で、力仕事など男性に向いている仕事もありますが、女性の意見は男性にない視点からのものもあるので、早急に女性の視点を取り入れていただきたいと思います。				
質問	No19:男女平等参画の視点による防災対策の推進について、備蓄品の内容が5年度末と6年度末とで変化がないが、これはすでに備蓄されているという意味なのか。すでに備蓄されているとしたら、他のニーズはないのかを検討する必要はないか。				
回答	授乳服セットなど、一部の備蓄品の拡充を行っている。ただし、代表的なもののみを回答しているため、詳細については回答内容に含まれない場合がある。 また、災害時のニーズについては定期的に見直しを実施しており、男女平等参画の視点や多様な要件に基づくニーズの把握・対応に努めている。				

基本目標2	職業生活における女性の活躍推進
-------	-----------------

【施策(4)】		女性の就業・登用・起業の機会拡大			
評価指標	職場での男女差別が「特にない」と思う人の割合	策定時	令和6年度評価時	計画目標(令和6年度)	結果
		42.2%	38.8%	50%	未達成
根拠となるデータ	男女平等に関する台東区民意識調査(令和5年度実施)				
取組の方向性	①働き方の変革と女性の活躍推進に向けた事業者等への取組の支援 ②女性への就職・再就職支援、起業支援、キャリア形成支援 ③区における働き方の変革と女性の活躍推進				
ご意見	職場における差別がどのように経験しているのかを把握したうえで、雇用上の性差別のさらなる是正が求められる。				
ご意見	No26・29:女性の就業・登用・企業は徐々に増えてきていると思いますが、そこから生まれる問題の解決はなかなか追いついていかないものだと思います。家事・子育て・介護などの負担や各種ハラスメント問題、一つ一つを見直していかなくてはならないことなので、社会全体の意識改革が重要だと思います。				
質問	No25:現状や今後の計画を教えてください。				
回答	女性活躍推進法に基づく協議会の設置はない。協議会の設置は任意であるが、「はばたきプラン21」に「台東区女性活躍推進計画」が包括されているため、「はばたきプラン21」推進会議等で必要な事案があれば協議していく。				
質問	No29:就業相談の性別内訳を教えてください。性別による相談内容の特徴等はあるのか。				
回答	就業相談155件のうち、女性91件、男性63件、その他1件である。相談内容は、就職活動に伴う「履歴書・職務経歴書・自己PRの書き方」が多く、性差による相談内容の違いはない。				

【施策(5)】		ワーク・ライフ・バランスの実現			
評価指標	仕事、家庭生活、個人の生活の調和がとれていると考える人の割合	策定時	令和6年度評価時	計画目標(令和6年度)	結果
		8.0%	10.9%	30%	未達成
根拠となるデータ	男女平等に関する台東区民意識調査(令和5年度実施)				
取組の方向性	①ワーク・ライフ・バランスに関する意識啓発 ②ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた企業等への支援 ③出産・育児・介護に対する職場の理解の促進				
ご意見	これまで基準とされてきたような、家事・育児・介護の家族的責任を負わない「男性」の働き方を転換していくことは、男性にとっても働きやすい職場であることを前提として、さらなる推進を求めたい。				
ご意見	台東区のワークライフバランス推進企業認定先複数社による講演等を実施することで、ワークライフバランス実現に向けての区民への意識啓発が一層図られる。				
ご意見	男女問わず、生活にゆとりがないとうまくいかないと思います。時間の制約に限らず、精神的なゆとりも必要ですので、周りの人たちの理解・思いやり・お互い様精神、で見守れると良いですね。具体的な周知・啓発も必要ですが、個々が理解しあえるコミュニケーションも大切です。				
ご意見	ワーク・ライフ・バランスの実現の評価指標・計画目標に20%程度開きがある。区独自の認定資格などの推進は良いと感じる一方で、ここのみ注力していると目標に辿り着くのが長くなるのではないかと感じています。都や国の助成などを組み合わせて周知する、他部門との連携など、目標を早急に達成するために他部署や他行政と連携して指標の向上を促進して頂きたいです。				

【施策(6)】		子育て世代・介護者への支援			
評価指標	台東区が子育てしやすいと感じる割合	策定時	令和6年度 評価時	計画目標 (令和6年度)	結果
		52.0%	55.2%	増加	達成
根拠となるデータ	次世代育成支援に関するニーズ調査(令和5年度実施)				
取組の方向性	①多様な子育て支援サービス・保育サービスの充実 ②子育てに関する支援者の育成 ③子育て世代の居場所づくり、ネットワークづくりの支援 ④ひとり親家庭等への支援 ⑤介護者への支援				
ご意見	様々な事業を展開しており、台東区の手厚さを感じる。男女平等の視点を意識しながら、こうした事業を丁寧に推進してほしい。				
ご意見	「評価指標」の上昇が0.2%と微増であることが気になりました。まだまだ当事者の見えないニーズがあるのかと感じています。 憶測ではありますが、子育てをしている親世代、介護者が忙しかったり、心の余裕が無かったりなど意見を言うことも難しい可能性があるのではないかと考えています。区が積極的に当事者へニーズを取りに行くことも行なっていく方法もあるのかと思いました。				

基本目標3	誰もが安心して暮らせる環境の整備
-------	------------------

【施策(7)】		配偶者等からの暴力の防止及び被害者保護			
評価指標	DV(ドメスティック・バイオレンス)の被害経験がある人の割合	策定時	令和6年度 評価時	計画目標 (令和6年度)	結果
		27.5%	21.2%	減少	達成
根拠となるデータ	男女平等に関する台東区民意識調査(令和5年度実施)				
取組の方向性	①DV相談業務の充実と関係機関との連携 ②DV被害者の安全の確保と自立支援 ③配偶者等からの暴力を防止するための取組				
ご意見	被害を「被害」として認識することそのものが困難であることから、行政をはじめとして区内のあらゆる場所での周知を求めたい。				
ご意見	DVという言葉が人々に広く浸透し、そのことで、周囲の理解が得られてきたようです。引き続き各課協力して、取り組んでいき、実績を積むことで、より細かな取り組みが出来ると思います。近年の身体的暴力以外の精神的暴力、経済的暴力なども気になりますので、相談支援を充実させてください。				
ご意見	「評価指標」の%は令和5年には減っているが、令和6年には相談件数が増えていることが気になりました。DV加害者への対応や再発防止策、小さな頃から加害者にならないための学びなど、評価指標の数値が限りなくゼロに近くなるまで多面的な対策をお願いします。				

【施策(8)】	あらゆる暴力の防止への取組				
評価指標	セクシュアル・ハラスメントの被害経験がある人の割合	策定時	令和6年度 評価時	計画目標 (令和6年度)	結果
		11.1%	13.1%	減少	未達成
根拠となるデータ	男女平等に関する台東区民意識調査(令和5年度実施)				
取組の方向性	①ハラスメント防止のための取組 ②ストーカー行為・性暴力等の防止に関する意識啓発と相談業務の充実 ③若年層の性的搾取の防止に関する啓発				
ご意見	当該の被害者への啓発・情報提供のみならず、その周りにいるであろう人たちを対象とした被害者支援に関わる情報提供の充実を求めたい。				
ご意見	ハラスメントという言葉も社会的にかなり浸透してきたと思います。ただ、どこまでが、該当するのかなど感情論になってしまうので、相談できる環境が大事だと思います。ストーカー行為……等も身近に相談できる環境がより必要になってくるのかと思います。SNS問題も周囲の気配り(気付き)や相談できる環境だと思います。				
ご意見	暴力防止への取組は啓発を中心としている。こうした研修等については、内容を工夫しつつ継続的に行うことが必要であると考えます。対象者を拡大したり変更したりして継続してほしい。区の職員や教職員に対して職層研修の一環としてだけでなく、常に研修内容に加えてながら啓発していくことが重要である。その際、人権尊重の理念を繰り返すだけでなく、具体的な対応等を含めるなど研修の工夫を期待したい。				

【施策(9)】	生涯を通じた男女の健康支援				
評価指標	乳がん検診受診率 子宮頸がん検診受診率	策定時	令和6年度 評価時	計画目標 (令和6年度)	結果
		42.2%	51.2%	50%	達成
		49.0%	53.7%		達成
根拠となるデータ	健康づくりと医療に関する区民意識調査(令和5年度実施)				
取組の方向性	①女性の人生の各ステージに対応した健康支援の充実 ②生涯を通じた健康づくりの推進				
ご意見	高齢者の孤立死を避けるためにも、高齢者等が家に引きこもらないよう自治会等との協力連携を強化する。				
ご意見	「評価指標」には乳がん・子宮がん検診受診率が挙げられていますが、男女問わず健康意識は若い時からきちんと取り組む課題だと思います。足腰が丈夫でないと生活するうえでのリスクがどれだけ減ってしまうのか。病気予防はもちろんですが、スマホによる視力低下、運動不足など、現代の環境からくる健康意識の啓発が広く事業実施に繋がると良いと思います。				

【施策(10)】	困難を抱える方への支援の充実				
評価指標	人権が守られていないと考える区民の割合	策定時	令和6年度 評価時	計画目標 (令和6年度)	結果
		29.3%	33.2%	減少	未達成
根拠となるデータ	台東区民の意識調査(令和5年度実施)				
取組の方向性	①高齢者への支援 ②障害者への支援 ③外国人への支援 ④性の多様性に関する理解の促進と相談体制の整備				
ご意見	外国人、障害者、その他多様性を認め合えるよう、今後、交流の機会を積極的に設け、共存の意識啓発を進めることが必要と考える。				
質問	No82:「地域で暮らす外国人との交流事業」参加した外国人と日本人の人数を明示してほしい。				
回答	第1回37名のうち外国人は24名日本人は13名、第2回12名のうち外国人は1名日本人は11名、第3回77名のうち外国人は38名日本人は39名である。				
質問	No86:必要な支援の検討結果が記載される必要があるのではないか(最終年度のため)。				
回答	令和4年11月の東京都パートナーシップ宣誓制度の開始に伴い、台東区では東京都の受理証明書を交付された方に対し、台東区高齢者住宅の入居申込他23項目のサービスが利用可能となっている。令和7年度には、第6次計画に掲載した「職員向けの性の多様性に関するガイドライン」を、専門的知見を有する団体に委託して作成する。				
質問	「評価指標」策定時より評価指標の「人権が守られていないと考える区民の割合」が、令和5年度の調査時には4%程度増えているが、具体的にどのようなことで人権が守られていないと感じているのでしょうか？具体的に感じている問題を対処しないとこの評価は減らないのかと感じました。				
回答	区民意識調査では「日常生活の中で、どのような人権侵害があるか(複数回答可)」についても質問している。令和6年度の意識調査における上位3つは以下である。男女(性)に関する差別(43.2%)、子供に対するいじめや虐待(42.8%)、障害者に対する差別(38.4%)				

計画推進の基盤	ジェンダーの視点による区政運営の推進
---------	--------------------

評価指標名	根拠となるデータ	策定時	令和6年度 評価時	計画目標 (令和6年度)	結果
台東区男女平等推進基本条例の認知度	男女平等に関する台東区民意識調査(令和5年度実施)	26.7%	31.1%	30%	達成
台東区男女平等推進行動計画はばたきプラン21の認知度		25.5%	27.2%	30%	未達成
男女平等推進プラザの認知度		13.0%	18.6%	30%	未達成

(1)	男女平等参画の総合的推進				
取組の方向性	①全庁的な推進体制 ②職員に対する教育・研修体制の充実 ③施策・事業を推進するための評価体制づくり				
ご意見	区役所をモデル事業所として取り組みを進め、そのことを発信することによって条例・計画・プラザの周知をはかるような推進を求めたい。				
質問	No90:管理職選考受験対象者のうち男女の受験率はどうなっているのか。女性の受験率が低い場合、女性が管理職昇進を望まない理由等を把握し、女性の受験を促進する方法の検討が必要と思う。				
回答	令和6年度管理職選考種別Ⅰ類(主任以上6年以上、年齢55歳未満)の有資格者の受験率は女性1.4%、男性7.3%である。				

(2)	男女平等推進プラザの充実
取組の方向性	①区民との協働による活力ある運営 ②相談事業の充実 ③男女平等に関する取組の充実と認知度の向上
ご意見	区民との協働ですが、興味のある方は徐々に増えているとは思いますが、社会人等仕事をしている方で生活に忙しく、余裕のない方などにどのように働きかけていくかという点で、やはり企業や教育関係など幅広くPRしていくことがプラザの充実に繋がると思います。

(3)	国・東京都・NPO等との連携
取組の方向性	①国・東京都・NPO等との連携
ご意見	区政を運営する上で国や東京都、NPO等と連携しながら迅速に進めていくことは必要なことである。今後も時宜に応じて適切に連携しながら事業運営を進めていかれることを期待する。
ご意見	区民であっても勤務先学校など生活面は台東区に限らないので、他区、東京都との連携で情報共有を図り、より良い情報を取り入れて行って欲しいと思います。国や東京都との連携も重要ですが、近隣の区との連携も大切だと思います。

全体を通じて・その他意見等	
ご意見	女性が働きたいが様々な困難や障害があるために社会進出が遅れるといった点については、仕事と家庭の両立支援や資金格差を是正していくために台東区だけでなく国や東京都に働きかけながら進めていかなければならず、今後ご苦労をかけることになるかと思えます。
ご意見	様々な課題を乗り越え、教育等による意識改革を進めるとともに育児や介護の男女平等な分担になるような方策の情報提供、女性のリーダーを積極的に育成するとともに登用すること、企業への働きかけと支援策の整備等、課題は多くあると思いますが、貴課を中心に進めていただけることを期待します。
ご意見・質問 (追加)	はばたきプラン21の基本目標内の「取り組みの方向性」の中には優勢的に取り組むものの順番が決まっていたり、事業のロードマップがあるのでしょうか？ 未来に繋がるために行う取り組みが並列で書かれており、全ての取り組みは男女平等参画に大切な取り組みなのですが、優先度をつけずに全てを同時に行うには数が多いのではないかと感じています。 取り組みに関わっている人が、疲弊していないか気になりました。